

Pick Up Curriculum

先端森林業技術論

近年はスマート林業の取組みや林業イノベーションが進み、AIやICTを利用した先端技術の複合化によって、造林から流通に至る全段階で効率的な管理・運営を行い、需給予測または木材のオンデマンド供給に基づく収益性が高い森林業経営が求められています。本科目では、研究開発等の状況を踏まえ、先端技術(ICT、レーザー森林解析、ロボットなど)の活用方法などについて学びます。

森林生態系サービス保全利用論

生態系のさまざまな恵みのことを生態系サービスと呼んでいます。持続可能な社会の構築のためには、これらの生態系サービスを最大限生かしていく必要があります。本科目では、森林生態系サービスの保全利用に関する基礎的な知識を学ぶとともに、森林サービス産業などの新ビジネスの創設やPES(生態系サービスへの支払い)について学びます。

SDGsと農業・森林業(両学科共通)

農業と自然環境との共存は重要であり、農地・森林環境は食料・木材等生産物の安定供給という生産機能のほか、人類社会の持続可能な発展や地球環境の保全等において多面的な機能を発揮しています。本科目では、農業・農村の有する多面的機能、森林環境の提供しているさまざまな生態系サービスや持続可能な農業・森林業へ向けた取組みの進め方や、森林業生産に起因する環境問題とその対策について考え、SDGsの達成・実現に向けた農業・森林業のあり方について学びます。

取得を目指す資格一覧

- 刈払機取扱作業者(刈払機取扱作業者安全衛生教育修了) ■チェーンソーによる伐木造材作業等の特別教育
- 小型車両系建設機械(整地、積込み、運搬)特別教育 ■車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込・掘削)
- 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ■走行集材機械の運転の業務に係る特別教育
- 簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育
- 赤十字救急法基礎講習(赤十字ベーシックライフサポーター認定証)
- 赤十字救急法救急員(赤十字ファーストエイドプロバイダー認定証) ■日商簿記検定(2級)※1 ■森林情報士2級(森林GIS)※2

※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要があります。
 ※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要があります。

取得学位について

森林業学士
(専門職)

森林業経営学科 カリキュラムマップ

科目 単位	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
基礎 (20)	■地域等の特性(4単位) 山形・東北の風土・伝統文化(2)			
	■コミュニケーション能力(6単位) (自由)英語基礎(2) コミュニケーション論(2)	ビジネス英語I(2)	ビジネス英語II(2)	
	■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) スポーツ(1)	SDGsと倫理(2) 2単位を選択 気象・気候学概論(2) 統計学(2)	情報活用(1) 2単位を選択 政治学概論(2) 社会学概論(2) 法律学概論(2)	経済学入門(2)
職業専門 (84)	■生産理論・技術(32単位) 森林土壌・樹木学(2) 造林学(2) 森林生産学(2) 森林労働安全衛生論(1) 演習林実習I(8)	非木材森林産品概論(1) 森林保護学(2) 森林保全学(2)	測量学(2) 森林情報学(1) 演習林実習II(8)	先端森林業技術論(1)
	■経営全般(46単位) 森林業実地体験実習(1)		臨地実務実習I(生産管理等)(8) 木質科学概論(2)	SDGsと農業・森林業(2) 国際森林業論(1) (自由)国際農業・森林業実習(2) 木材利用論(2)
	■地域課題解決能力(6単位)		講義:2単位、演習:1単位、計3単位を選択 東北の森林資源管理(2)	2単位を選択 東北の森林資源利活用(2)
展開 (24)	■応用的・創造的能力(24単位) デザイン論(偶数年度開講) デザイン論演習(偶数年度開講)	金融論(奇数年度開講)	金融論演習(奇数年度開講)	講義(必修:2年前期、選択:1~4年前期):2単位、演習(必修:2年後期、選択:1~4年後期):2単位 森林生態系サービス保全利用論(2)
	■総合的能力(4単位)	金融論演習(偶数年度開講)	発酵学・醸造学(偶数年度開講)	発酵学・醸造学演習(偶数年度開講)
総合 (4)		金融論演習(奇数年度開講)	発酵学・醸造学(偶数年度開講)	建築学(奇数年度開講)

大学としての学問理論と森林業の現場の実践。

研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

森林業経営学科は森林資源管理及び森林資源利活用の各専攻分野に
研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置し、
理論と実践とを関連づけて学べる、ハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、
こんな研究をしている
教員がいます

- 森林の多面的機能に資する森林を造成する技術や生態系を管理する技術を研究している教員
- スマート森林業実施のための先端の森林施業技術を研究している教員
- 森林サービス産業と革新的な森林ビジネスを研究している教員

森林業経営学科の定員及び専任教員

森林業経営学科	入学定員	収容定員	専任教員			教員数計
			学科長	研究者教員	実務家教員	
	8	32+4	1	4	4	9

課程

卒業単位：132単位

3年		4年	
前期	後期	前期	後期
哲学と東北(2)			
森林環境政策(2)	マーケティング論(2)		
組織マネジメント論(2)	森林業経営分析・計画(2)		
森林経営管理学(2)	税制・簿記論(1)	簿記各論(1)	
臨地実務実習II(経営管理等)(8)			臨地実務実習III(経営総合)(8)
どちらか1つの履修時期を選択	(自由)国際農業・森林業実習(2)		
	木材加工・販売実習(2)		
	農山村活性化論(2)		
	農山村活性化論演習(2)		
※講義12単位と演習12単位を選択			
建築学演習(奇数年度開講)	社会福祉論(偶数年度開講)	社会福祉論演習(偶数年度開講)	栄養学(奇数年度開講)
			栄養学演習(奇数年度開講)
			山形・東北観光学(奇数年度開講)
			山形・東北観光学演習(奇数年度開講)
			経営分析・計画演習(4)

…必修科目
…選択科目
…自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)